

## 2014年度「生命科学Ⅰ」ARCSモデル授業アンケート実施について

### 実施要領

- 実施期間：2014/07/01～2014/07/25
- 実施対象：火曜4限（約340名）、5限（約130名） 受講者
- 実施方法：授業支援システムの「テスト／アンケート」

### ○アンケート質問項目とARCS属性

質問	属性	正負
(01)先生は、この授業で私たちが熱中させるような方法を知っていた	A	+
(02)この授業で学習している内容は、私にとって役に立つだろう	R	+
(03)私はこの授業をうまくやる自信があった	C	+
(04)この授業には注意をひきつけられることはほとんどなかった	A	-
(05)先生はこの授業の内容が重要だと感じさせていた	R	+
(06)私がすでに知っていることと、この授業の内容がどのような関係があるのかわからなかった	R	-
(07)この授業でよい成績がとれるかどうかは私自身にかかっている	C	+
(08)先生は重要なポイントに向けて話を盛り上げていった	A	+
(09)この授業の内容は、私にとってあまりにも難しかった	C	-
(10)私はこの授業にとっても満足している	S	+
(11)この授業で私は高い基準を立てて、それを達成しようとしていた	R	+
(12)学生たちは、内容に興味を持っているようだった	A	+
(13)私はこの授業を楽しんだ	S	+
(14)先生が私の課題にどんな評価をするのかを予測するのは難しかった	C	-
(15)私はこの授業から学んだことに満足している	S	+
(16)この授業の内容は、私の期待や目的に沿っていた	R	+
(17)先生は、普段と違うことや驚くようなことをして授業をおもしろくした	A	+
(18)学生たちはこの授業に積極的に参加した	R	+
(19)自分の大きな目的を達成するには、この授業でよい成績をとることが重要だ	R	+
(20)先生は、いろいろなおもしろい教え方を使っていた	A	+
(21)私はこの授業から何か得るものがあるとは思わなかった	R	-
(22)この授業の間、私はぼーっとすることが多かった	A	-
(23)この授業を受けていて、一生懸命やればよい成績がとれると信じていた	C	+

(24)この授業から個人的に得られるもぼは、はっきりしていた	R	+
(25)この授業の質問や課題は私の好奇心を刺激することが多かった	A	+
(26)この授業の難易度はやさしすぎも難しすぎもせず適切であった	C	+
(27)この授業にはかなりがっかりしている	S	-
(28)この授業で私がしなければならない課題の量は適切であった	S	+

○回答

回答	点数
まったくそう思わない	1
そう思わない	2
どちらともいえない	3
そう思う	4
まったくそう思う	5

### 問題 21 / 28

(21) 私はこの授業から何か得るものがあるとは思わなかった

- A. まったくそう思う
- B. そう思う
- C. どちらともいえない
- D. そう思わない
- E. まったくそう思わない

[選択をリセット](#)

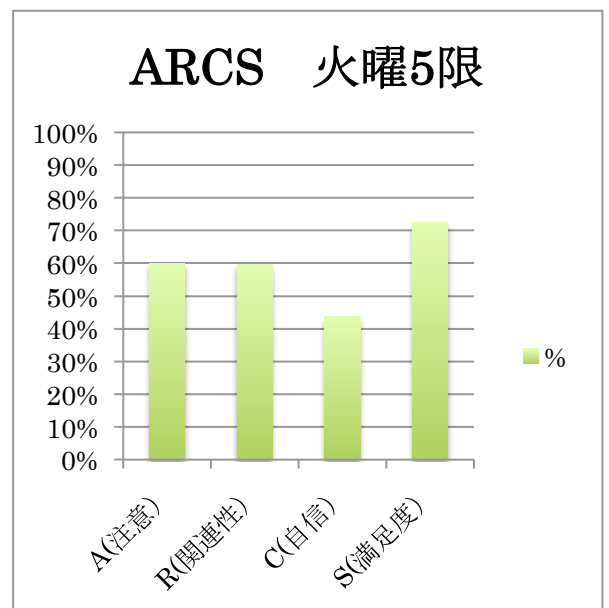
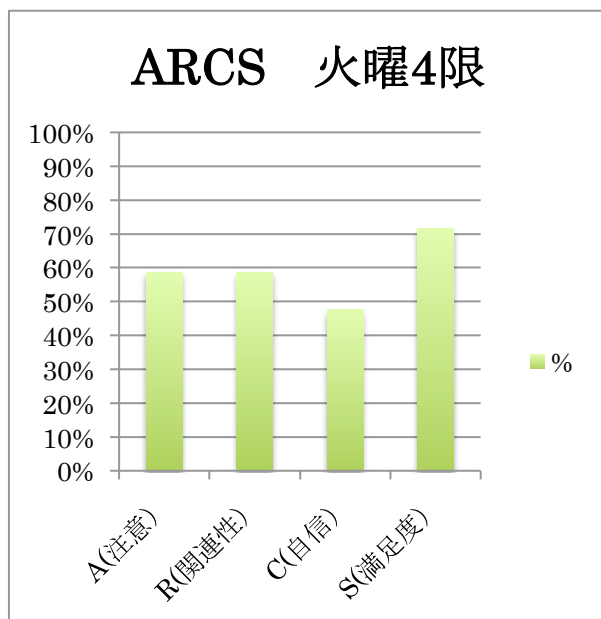
## 実施結果

○ アンケート回収率：4限（65%、223/340）5限（82%、107/130）

○ 集計結果

4限	平均	最高値	%
A(注意)	17.1	30	57%
R(関連性)	20.4	35	58%
C(自信)	9.2	20	46%
S(満足度)	14.1	20	70%

5限	平均	最高値	%
A(注意)	18.0	30	60%
R(関連性)	20.8	35	59%
C(自信)	8.7	20	44%
S(満足度)	14.5	20	72%



## 参考文献

川上祐子・向後千春(2013. 3) ARCS 動機づけモデルに基づく Course Interest Survey 日本語版尺度の検討『日本教育工学会研究報告集』JSET13-1, Pp. 28  
[http://kogolab.chillout.jp/paper/20130302\\_JSETken\\_kawakami.pdf](http://kogolab.chillout.jp/paper/20130302_JSETken_kawakami.pdf)